

愛知県内大学間における ネットワーク構築の経緯



修文大学 看護学部
船橋香緒里

愛知県内の大学

愛知県内の大学は
令和元年度15校



開校年度	大学数
昭和47年	1
平成 7年	1
9年	1
11年	1
12年	1
16年	2
18年	1
22年	1
27年	2
28年	1
29年	1
30年	1
令和元年	1
合計	15校

愛知県内の大学 ネットワーク化の経緯

平成10～14年頃：保健師の実習調整会議後に情報交換をしていた

平成12年：東海豪雨

（行政より看護系大学学生ボランティアの呼びかけ）

平成15年：愛知県内で話し合う場が欲しい

カリキュラム、実習費等の情報交換

平成16年度：愛知看護系大学連絡協議会発足

平成17年度：学生とともに災害フォーラムを開催

学生ボランティア活動の紹介

平成18年度：加盟校が協力して支援できる学生の災害時活動

についての基本指針

※日本看護系大学協議会の加盟には関係ない組織として設立

愛知県内の主な災害

1) 地震

- ①濃尾地震（M24年）
- ②東南海地震（S19年）
- ③三河地震（S20年）

3) 水害

- ①伊勢湾台風（S34年）
- ②台風17号（S51年） ※長良川決壊
- ③台風7・8号（H3年）
- ④東海豪雨（H12年） ※庄内川、天白川決壊

愛知看護系大学連絡協議会

1) 目的

大学における自律性を尊重しながら、学術と教育に関する事項の協議を通して看護学教育の推進向上に貢献

2) 事業内容

①看護学教育の推進向上に関する事業

②相互の連絡調整

③相互の親睦

④その他

3) 愛知県内の看護系大学で構成

4) 年2回定例会議（会長が所属する大学が当番）

各校から代表2名

5) 会長は持ち回り輪番制（2年交代・副会長は次回当番校）

愛知看護系大学連絡協議会が支援する 学生の災害時活動についての基本指針(抜粋)

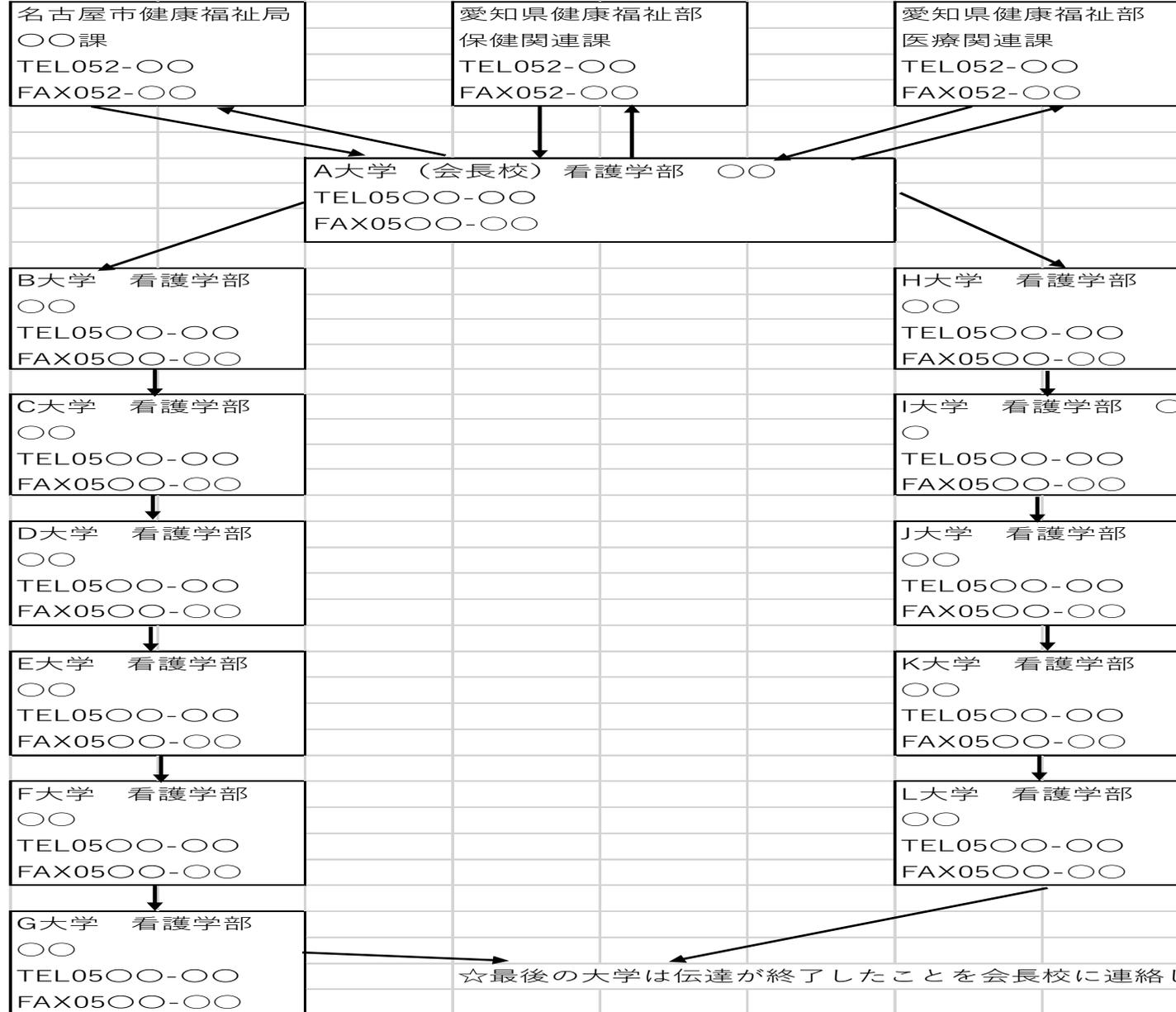
- 1) 自然災害における看護学生を中心とする
ボランティアサポート
- 2) 学生がかかわるのは中長期的支援活動を期待する
- 3) 学生の安全は各大学で責任を持つ
- 4) 学生にはボランティア養成講座、救急法市民講座などを
受けるよう促す
- 5) 各大学のボランティアグループのネットワーク協力体制を
構築

愛知看護系大学間の 災害発生時における協力体制フローチャート

防災マニュアル指針2017参照
別紙1をご覧ください。

愛知看護系大学連絡協議会災害時連絡体制

(平成28年12月1日現在)



防災マニュアル指針2017
P26より抜粋